

雪森トレック

レク森

観察会第3弾

冬の森を探検しよう！！

普段は歩けない森の中を探検して、シカやウサギ、キツネの足跡を追跡しよう。エゾリスの姿が見られるかも？！

観察会

2月13日(土) 9時30分

レクの森駐車場

お問い合わせ
あさぶ文化遺産調査プロジェクト
石井淳平 080-6094-8439
junpei9@gmail.com

主催 あさぶ文化遺産調査プロジェクト 後援 道南ブロック博物館施設等連絡協議会

レク森観察会第3弾「雪・森トレック」冬の森を探検しよう

事業内容

ウサギやキツネ、シカの足跡を追いかけて森の中をあるきます。夏とはちがう銀色の森を眺めながら、運動不足を解消します。

雪のつもった森の中は、決まった道路ではなく、好きな場所を歩けます。下りはおしりで滑り降りたり、急な坂道をジャンプで飛び降りることもできます。

講師

のむら あきひで

野村昭英先生

酪農学園大学卒業、専門は昆虫、植物。

土橋自然観察教育林コーディネーターとして5年間の勤務をへて、現在は町内製材所に勤務。

動植物写真を精力的に撮影し、ウェブで公開するほか、近年ではビーチコーミング（海岸での漂着物採取）にも取り組んでいます。

参加する方は

集 合 レクの森駐車場

期 日 2月13日（土）9時30分～
11時30分終了予定

対 象 どなたでもOK（小学生未満のお子様は保護者同伴をお願いします。）
森や山、動植物が好きな方
健康づくりのために運動したい方

天 気 暴風雪以外は実施します。



雪が音を吸い込む。冬の森は驚くほど静か。



©Tokumi

エゾリスは、レクの森にたくさん生息しています。ほとんどの時間を木の上で過ごすため、その姿をみることは少ないものです。

松の木から風もないのにパラパラと松ぼっくりのかげらが落ちてくるのは、エゾリスが木の上で食事をしているのです。

服 装 長靴（スノトレ）、手袋、帽子、ウィンドブレーカー又はスキーウェア上下

※注意 スノトレッキングは運動量が多いため、お子様には厚着をさせないよう気をつけてください（インナーはジャージ上下がおすすめです）。特に吸汗発熱素材のインナーは体温調節が困難なことから、着用を避けるようお願いします。ネックウォーマーや薄手のフリースで体温調節するようにしてください。

持ち物 水筒、汗拭きタオル、マスク

その他 スノーシューやストックをお持ちの方は、持参していただいてもけっこうです。

足あとをたどる～誰の足あとかわかるかな？～

足あと観察のすすめ

エサを探すウサギ、ウサギを追いかけるキツネ、夏にはまったくわからない動物のうごきが足あとからわかります。キツネとタヌキは足の形はよく似ていますが、足どりがまったくちがいます。木の上で松ぼっくりを食べるエゾリスの食事のあとも雪の上にはしっかりと残されています。注意ぶかく森の中をあるいて、動物たちのうごきを推理してみましょう。



冬の間も動物たちは活発に活動しています。人間の姿が消える冬は、動物たちにとってレクの森がちょっとだけ安心できる場所になります。

左の写真はレクの森外周路で撮影したシカの足跡です。自由に歩き回る動物たちの足跡を追いかけて森を歩くのは、探偵になったような気分がわくわくします。

お問い合わせ

あっさぶ文化遺産調査プロジェクト

石井淳平 080-6094-8439 junpei9@gmail.com